

## 2. 事業の概要～令和元年度(2019年度)事業計画の達成報告

### 1. 大学の拡充と将来構想

#### (A) 大学に関する事業

平成31年4月、保健衛生学部理学療法学科をリハビリテーション学科に改組し、従来学科の理学療法学専攻に加え、三重県で大学として初の「作業療法士」養成校である「作業療法学専攻」を新設し、43名(入学定員40名)の新入生を迎えることができました。作業療法学専攻では、医療人としての教育はもとより「地域で働ける作業療法士」「専門性を持った作業療法士」の養成という2本柱で教育を展開していきます。

また、保健衛生学部鍼灸サイエンス学科では、これまでのスポーツトレーナーに関連する教育をさらに強化するために「鍼灸・スポーツトレーナー学専攻」教育課程を新設し、34名(入学定員30名)の新入生を迎えることができました。「鍼灸・スポーツトレーナー学専攻」では、鍼灸学に加え、スポーツ医学とトレーナーの知識・技術を修得し、アスリートや患者さんに対してパーソナルなトレーニング指導を行い、競技におけるパフォーマンス向上や健康増進に寄与できる人材を育成していきます。

さらに、令和元年9月、文部科学省より令和2年度から看護学部の入学定員を80名から100名にする収容定員増加の認可を受けました。これにより大学全体の収容定員は完成年度である令和5年度には2,720名となります。

なお、現在は大学設立当初からの医用工学部医用情報工学科を改組し、令和3年4月に医用工学部医療健康データサイエンス学科を開設するための準備を進めています。医用情報工学科開設からおよそ30年経過した今、時代は大きく変化し種々のデータを活用して医療健康に役立てることができる人材の育成が求められています。医療健康データサイエンス学科では、データの意味を理解しデータ環境を構築し、さらにAIやIOT(モノのインターネット)、ビッグデータなど最新の手法を駆使してデータを分析し、様々な課題解決のためのプロジェクトをマネジメントすることができる医療健康分野のデータサイエンティストを育成します。

#### (B) 大学院に関する事業

平成31年4月、大学院医療科学研究科医療科学専攻修士課程に看護学分野の教育課程を設置し、広い視野に立ち専門分野の学識を深め、科学的な思考力、実践力、教育力、指導力を養いリーダーシップを発揮できる看護実践者や臨床教育者などの高度実践教育者を育成するための教育をスタートさせました。

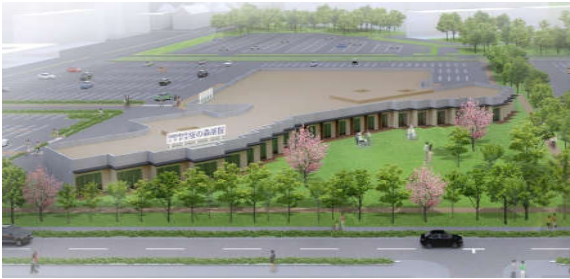
また、令和2年度より大学院医療科学研究科医療科学専攻修士課程臨床検査学分野に細胞検査士養成コースを開設します。本コースでは、臨床検査技師を対象に、

働きながら細胞検査士の資格を取得し、修士の学位取得とともに高度な専門教育を行います。

### (C) 大学附属桜の森病院の設立準備

令和3年春、完全独立型緩和ケア専門病院である鈴鹿医療科学大学附属桜の森病院の開設に向けて、病院建築と体制整備に向けた準備を進めています。この大学附属病院は、本学白子キャンパス内に延べ床面積約3,400㎡、全室個室の入院、緩和ケア病床25床を設け、地域の診療所や急性期病院との連携を図り、緩和ケアを担います。また、医療専門職を養成する本学の利点を生かし、多職種によるチーム医療を行うとともに学生に学びの場を提供します。

#### 【緩和ケア病院 外観】



#### 【緩和ケア病院 内観】



病室



エントランスホール



食堂兼ダイニング

## 2. 大学広報の強化

全国展開を視野に入れた効果的な広報の充実化を図るため、ターゲットの分析、広告広報の費用対効果の測定、広報媒体の見直しによる広報戦略のPDCAを実施しました。

### ■ターゲット分析（令和元年度入試より）

「アクセスオンライン」（資料請求者管理システム）と「受験者情報」から、本学への志願者動向の分析を行いました。

## ■新聞、テレビ、ラジオなどのマスメディアを利用した広告 PR 活動について

県内報道機関へ本学の教育・研究・社会貢献活動に関する情報発信を行い、新聞広告やメディアへの掲載について、新設学科・専攻に関するタイムリーな情報発信や積極的な広報活動を行いました。

- ・プレスリリース：計 19 件に対して  
記事掲載件数：延べ 66 件
- ・メディア掲載状況：計 92 件 ※上記 66 件を含む  
(テレビ/ラジオ 24 件、新聞 62 件、雑誌 6 件)
- ・新聞広告／メディア協賛：計 16 件  
(テレビ/ラジオ 7 件、新聞 6 件、雑誌 3 件)

## ■ホームページの充実化

ホームページにおいて、新着情報の迅速な発信とコンテンツの見直し及び拡充を行い、以下のサイトを整備しました。

「作業療法学専攻と鍼灸・スポーツトレーナー学専攻」の追加 (令和元年 4 月公開)

「新入生応援サイト」の新規制作 (令和 2 年 3 月公開)

「社会連携研究センターサイト」内の統合に向けて企画設計 <制作中>

「東洋医学研究所」 <サイトリニューアル> (令和 2 年 3 月公開)

「女子学生寮・学生指定寮」 <web 申込の機能追加> (令和元年 9 月)

◇新入生応援サイト [https://www.suzuka-u.ac.jp/nyushi/event/new\\_student/](https://www.suzuka-u.ac.jp/nyushi/event/new_student/)

◇東洋医学研究所 <https://www.suzuka-u.ac.jp/facilities/toyo/>

## ■公式 SNS の運用強化

今年度運営 3 年目の公式 SNS (LINE／Instagram) を利用し、ユーザーの意向に沿う情報発信を行いました。今後も広告効果を一時的なものにしないために公式 SNS を活発に活用し、本学独自の教育内容・方法を発信していきます。

LINE 投稿件数 27 件 (メッセージ 20 件、タイムライン 7 件)、友達追加数 825 名  
Instagram 投稿件数 32 件、フォロワー数 295 名を獲得しました。

◇LINE <https://line.me/R/ti/p/%40y1f0375s>

◇Instagram <https://www.instagram.com/suzukairyo/>

## ■動画・紙媒体などを利用した情報発信

大学紹介動画のリニューアルを行い、7 月末にホームページで公開しました。オープンキャンパスでの使用やホームページ「受験生応援サイト」でも公開し、本学の特色を分かり易く発信しています。また、広報誌「SUMS News」を年 4 回発行し、各学科の教育研究活動や学生生活を紹介しています。

◇ 鈴鹿医療科学大学 OPEN CAMPUS 2019

ホームページの掲載先：<https://www.suzuka-u.ac.jp/nyushi/event/special/gallery.html>

動画の URL：<https://www.youtube.com/watch?v=CTA7HvwHE7g>

◇ 鈴鹿医療科学大学 紹介動画

ホームページの掲載先：<https://www.suzuka-u.ac.jp/nyushi/etc/movie.html>

動画の URL：<https://www.youtube.com/watch?v=eZ6hlgZTA-0>

### 3. 教育内容の充実

#### 「IR機能の充実とそれに基づく教育改革の推進」

学科内に IR 推進委員を置き、全学の IR 推進室で扱うシステムを利用できるようにしたことで、各学科の現状把握などリアルタイムに分析が可能となりました。

また、教育の質保証を検討する委員会（教育質保証委員会）を各学科内に設置し、学科等による授業管理の方法、シラバスの整備、カリキュラム編成など多様な側面から検討を行い、教育の質に係る客観的な指標づくりが達成されました。さらに SUMS-PO（学内ポータルサイト）の新機能「学生カルテ」を利用し、学生や担任教員が客観的に学修度を把握できるように、カリキュラムマップやディプロマポリシーを紐づけた仕組みを構築しました。

#### 「学生に合わせた達成度重視の教育の推進」

「とことん分かるまで教育」「何を教えたかではなく、何を身につけたか教育」を実施するために、学生の授業理解度を確認しながら「身につけた教育」を評価する仕組みを作り、達成度を重視した評価方法の整備を行いました。

#### 「学修サポートシステムの導入と活用」

学生一人ひとりのための学修サポート体制を全学で具体化するため「学修サポートシステム」を導入し、学生の自学自習を支援しています。

「学修サポートシステム」を活用した自学自習の仕組みを作り、学生がいつでもどこでも空き時間に利用できる環境整備を行い、全学的な活用を目指しています。

また、国家試験対策の反復学習により、学修指導はもとより、国家試験の合格率を上げるための学修指導や就職活動にも引き続き活用しています。

#### 「国家試験や資格試験に対応し全員合格を目指す教育」

本学の使命のひとつである医療現場等で認められる医療人の育成を目指し、入学前、初年次教育、専門教育、最終学年にわたり資格試験合格を目指す一貫した教育カリキュラムの構築を行います。今後さらに、その質の向上を目指していきます。

### 「医療人底力教育の更なる充実と発展」

初年次教育である医療人底力教育を、これまでの実績による蓄積と反省に基づき更に充実発展させるため、クォーター科目を増やし、開講学年を移動し、選択科目の選択条件などを見直した新カリキュラムを構築しました。令和2年度新入生からさらに充実した質の高い教育を実施します。

### 「社会福祉法人サムス会との協働」

社会福祉法人サムス会特別養護老人ホーム「桜の森白子ホーム」について、効果的な実践教育の場として施設側と協働の下、全学科1年次必修科目である「医療人底力教育」、関係学科において教育計画をさらに充実させる実習施設として、またボランティア活動の体験学習の場として教育に役立てています。

## 4. 学生支援の強化

4月実施の健康診断において「からだの管理」、UPI（メンタルチェック）にて「こころの管理」の検査を実施し、身体や心に問題のある学生の早期発見を行い、担任教員、学生相談室との連携を強化し安心して学業に集中できるようにサポートし解決を目指しています。

・正課外の活動に積極的に取り組み、他者に貢献する活動を通し広く高い社会性を学ぶ学生に対し、サムスポイントを付与する制度を設けています。学内外の活動に積極的に取り組むことで良き医療人として自己研鑽に励む学生を支援し、ボランティア活動などへの参加へ繋げることができました。

・就職・キャリア支援については、学科ごとに就職活動の繁忙になる時期が異なるため、各学科の特性（企業や病院施設ごとの採用手法の違いや、単願・併願等の受験機会数の学科ごとのルール等）に即した就職サポートにおいて、その手法やルールの認識不足が起きないように情報の周知徹底をしています。また、積極的に就職活動を行えるよう学生へのサポートやフォローも同時に行っています。

## 5. 研究機能の充実及び産学官連携による社会貢献の充実

科学研究費補助金の応募を増加する方針のもと、令和元年度の科学研究費補助金の配分順位が私立大学576校中103位となりました（平成30年度は101位）。

薬学部内の医薬品開発センターと関連する研究室において、機能性食品等の開発に関する企業との共同研究を実施し、商品化に向けた活動を進めています。

・本学の東洋医学研究所において、これまでと同様に近赤外光脳機能イメージング装置（NILS）を活用した「うつ病等の精神疾患の病態解明」を目的として、専門研

究員によるデータ収集・解析を行い、県内企業の製品開発支援としてエビデンス構築を支援しています。

- ・臨床工学科と薬学科の教員がイノベーション・ジャパン 2019（会場：東京ビッグサイト）に出展し、企業関係者が各展示ブースに来場し、企業との共同研究へと展開することができました。

- ・平成 30 年 2 月、本学と鈴鹿工業高等専門学校との間で締結した「学術研究交流に関する協定」に基づき、近隣地域における産業振興、イノベーション創出および人材育成を目的として、それぞれの特色を生かした医療・医学、工学等の分野における学術研究に係る連携推進を図っています。両機関における学術研究の定期的情報交換を行う研究会（SUMS-NITS 医工連携研究会）を今年度は 8 月（会場：鈴鹿高専）と 2 月（会場：本学）に開催し、両校の教員・大学院生をはじめ三重県工業研究所、鈴鹿市内の企業から約 50 名の参加者があり、活気ある交流を推進できました。なお、科学研究費助成金等の獲得に向けて両校の教員による共同研究も積極的に進めています。

- ・薬局薬剤師等在宅医療研修施設（シミュレーション・ラボ：白子キャンパス 1 号館）に、シナリオ・シミュレーター、末梢挿入中心静脈カテーテル PICC シミュレーター、経管栄養シミュレーターなどを新規に設置し、薬剤師を対象に研修会を実施しました。薬学部 4 年次に開講している処方解析学、実務実習事前学習にて、シミュレーターを用い受講生参加型教育を実施しました。

モバイルファーマシーについては、昨年度作成した『在宅医療での簡易無菌操作に関するマニュアル』をもとに研修を実施しました。また、三重県薬剤師会との共催で開催した県民講座において、シミュレーション・ラボ、モバイルファーマシーの役割を広く紹介しました。

## 6. 国際交流の推進

- ・本学と協定を締結している天津中医薬大学(中国)、中国医薬大学（台湾）と鍼灸サイエンス学科、コンケン大学（タイ）と薬学研究科との学術交流を推進しています。

鍼灸サイエンス学科と天津中医薬大学とは定期的な交流が確立されており、令和元年 12 月 1 日に本学白子キャンパスにおいて開催の第 6 回日本薬膳学会学術総会に中国、マカオ、台湾、シンガポールから約 30 名が参加しました。参加者のためのエクスカーションを次のとおり実施し、国際交流を深めました。

12 月 2 日：鈴鹿サーキット見学、鈴鹿医療科学大学・薬学部、桜の森特別養護老人施設、鈴鹿ロボケアセンター見学

12 月 3 日：醤油製造会社、薬製造会社の見学や、忍者屋敷見学、組み紐体験などの日本文化を紹介し、交流を図りました。

大学院薬学研究科とコンケン大学医学部との間で、双方の学術および教育・研究活動において相互利益と発展、国際理解と親善を深めることを趣旨として、平成28年10月から5年間の国際交流協定(MOU)を締結しています。今年度も同大学から教員が来日し、研究打ち合わせが行われ共同研究に取り組んでいます。

- ・国際交流委員会において、学内の各レベル(大学、学部、学科、個人)で実施されている国際協力活動(学術、教育、文化など)の現状調査と情報を収集し、国際交流の推進を図っています。

また、教員や学生が海外渡航中に、事件・事故に万一遭遇した場合の大学としての危機管理体制を整備するため、全学委員会として防災・危機管理対策委員会を設置し、海外危機管理部会で検討しています。

- ・海外の大学より講師を招聘し、講演会での研究発表や交流の機会を設け、国際交流の機会を広げていく活動にも積極的に取り組んでいます。医療福祉学科では、全米司法ソーシャルワーク機構学術大会報告、6月10日～15日(アメリカ・ラスベガス)日本司法福祉学会学術大会開催、8月24日(本学)ジョージア大学のアンナ・シャヤット氏を講師として招聘し、全体として約200名の参加者がありました。

## 7. 学長のリーダーシップによる大学活性化のための継続可能な組織体制改革

自己点検・評価を支える「活動計画検討・実行委員会」の活動性を高め、各組織の目標達成に向けて各分掌の現状における課題と目標を明確化し、全教職員が効果的なPDCAサイクルを機能させるため、各学科に教育質保証委員会を設置し、その活動内容を年一回教育改革委員会内で学長に報告する仕組みを作ったが、3月の教育改革委員会が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催できなかったことから、早い段階で実施ができるよう体制を整えていきます。

教学に関する意思決定組織の整備と責任の明確性及びその機能性を高めるため、学長、副学長ミーティングを月1回、更に必要に応じて頻繁に実施しており、特に新型コロナウイルス対策については機動的に意思決定ができています。

### ○危機管理体制の整備

- ・防災・危機管理対策委員会の活動を開始し、関係部署とともに危機管理に関する諸規程の見直しやガイドラインの策定を行うため、平成31年度は2回(6月、1月)委員会を開催しました。

5チームを編成(自然災害管理・事業継続管理(BCP)／海外危機管理／情報危機管理／研究危機管理／学生危機管理)し、危機管理に関する各諸規程の見直しや不足分の追加、危機管理マニュアル作成に関する報告を行い、今後もさらに様々な危機事象への対応等について大学の実情に応じた危機管理マニュアルの作成に取り組めます。

## 8. 財務基盤の充実

- ・令和2年度入学生より、学費の改定を以下のとおり実施します。

本学は引き続き、施設設備の充実と教育用医療機器等の更新などを行い、教育環境の整備と教育の質の向上、研究の推進等に取り組んでいきます。

対象者：2020年度以降入学者

### ●初年度の学費

(単位：円)

| 学部        | 学科・専攻       | 入学金       | 授業料<br>(年間) | 前期授業料     | 後期授業料     | 合計        |           |
|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 保健衛生学部    | 放射線技術科学科    | 200,000   | 1,410,000   | 705,000   | 705,000   | 1,610,000 |           |
|           | 医療栄養学科      |           | 管理栄養学専攻     | 1,050,000 | 525,000   | 525,000   | 1,250,000 |
|           |             |           | 臨床検査学専攻     | 1,400,000 | 700,000   | 700,000   | 1,600,000 |
|           | リハビリテーション学科 |           | 理学療法学専攻     | 1,500,000 | 750,000   | 750,000   | 1,700,000 |
|           |             |           | 作業療法学専攻     | 1,500,000 | 750,000   | 750,000   | 1,700,000 |
|           | 医療福祉学科      |           | 医療福祉学専攻     | 950,000   | 475,000   | 475,000   | 1,150,000 |
|           |             |           | 臨床心理学専攻     | 950,000   | 475,000   | 475,000   | 1,150,000 |
| 鍼灸サイエンス学科 |             | 1,200,000 | 600,000     | 600,000   | 1,400,000 |           |           |
| 医工学部      | 臨床工学科       | 1,400,000 | 700,000     | 700,000   | 1,600,000 |           |           |
|           | 医用情報工学科     | 1,050,000 | 525,000     | 525,000   | 1,250,000 |           |           |
| 薬学部       | 薬学科         | 1,860,000 | 930,000     | 930,000   | 2,060,000 |           |           |
| 看護学部      | 看護学科        | 1,500,000 | 750,000     | 750,000   | 1,700,000 |           |           |

### ●2年次以降の学費

(単位：円)

| 学部        | 学科・専攻       | 授業料<br>(年間) | 前期授業料     | 後期授業料     |         |
|-----------|-------------|-------------|-----------|-----------|---------|
| 保健衛生学部    | 放射線技術科学科    | 1,510,000   | 755,000   | 755,000   |         |
|           | 医療栄養学科      | 管理栄養学専攻     | 1,350,000 | 675,000   | 675,000 |
|           |             | 臨床検査学専攻     | 1,500,000 | 750,000   | 750,000 |
|           | リハビリテーション学科 | 理学療法学専攻     | 1,600,000 | 800,000   | 800,000 |
|           |             | 作業療法学専攻     | 1,600,000 | 800,000   | 800,000 |
|           | 医療福祉学科      | 医療福祉学専攻     | 1,050,000 | 525,000   | 525,000 |
|           |             | 臨床心理学専攻     | 1,050,000 | 525,000   | 525,000 |
| 鍼灸サイエンス学科 |             | 1,700,000   | 850,000   | 850,000   |         |
| 医工学部      | 臨床工学科       | 1,500,000   | 750,000   | 750,000   |         |
|           | 医用情報工学科     | 1,350,000   | 675,000   | 675,000   |         |
| 薬学部       | 薬学科         | 2,040,000   | 1,020,000 | 1,020,000 |         |
| 看護学部      | 看護学科        | 1,600,000   | 800,000   | 800,000   |         |

- ・経常費補助金に加え、教育分野での補助金の獲得により補助金収入の増加を目指した結果、私立大学等改革総合支援事業（タイプ1 教育の質的転換）に採択されました（経常費補助金は、前年度比で5,040万円増加）。
- ・大学の研究シーズを基にした受託・共同研究費、寄附金、科学研究費等の外部資金獲得について、平成31年度の実績は次のとおりです。
  - 受託研究：7件 7,229千円（平成30年度：8件 9,527千円）
  - 共同研究：9件 9,098千円（平成30年度：9件 14,612千円）
  - 寄附金：12件 18,675千円（平成30年度：13件 18,570千円）
  - 平成31年度に交付を受けた文部科学省科学研究費補助金（間接経費を含む）  
74件 77,844千円（私立大学103位／576校）  
〔平成30年度：68件 81,640千円（私立大学101位／570校）〕



- ・その他、教育研究設備・装置等に関する補助金制度の積極的な活用による研究設備「スキャナータイプ画像解析装置」の設置や学内のバリアフリー化として事務局の自動ドア化および講堂の多目的トイレの整備などを実施しました。

## 9. 施設の改修及び教育環境等の改善

令和3年度開設予定の大学附属桜の森病院の建設を進めておりますが、各キャンパスにおいての改修工事は以下のとおり計画的に実施しました。

- ・千代崎キャンパスの設備改修
  - 実験実習棟1階空調設備更改（9月完了）
  - A講義棟空調設備更改4か年計画〈2年目〉（9月完了）
  - 千代崎キャンパス受電設備更新工事4か年計画〈3年目〉（令和2年3月完了）
- ・白子キャンパスの設備改修
  - 白子キャンパス4号館2階の空調設備の改修（12月完了）
  - 講堂 多目的トイレの設置（令和2年3月完了）

## 10. その他

大学院薬学研究科(4年制博士課程)における自己点検・評価は、文部科学省高等教育局医学教育課 薬学教育係からの通知に従い、「大学院4年制博士課程」完成年度後の成果を含む総括を行い、内容を大学ホームページに公表しました。